



vol.  
147

# けんこう家族

〒102-8798

東京都千代田区富士見2-14-23

TEL 03 (5214) 7111(代)

<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>

発行/東京逡信病院 2023年1月1日



医療救護所訓練

- 新年のご挨拶
- シンチカメラが新しくなりました
- 医療救護所訓練の実施/災害時の備蓄 お薬編・食品編
- 東京逡信病院事業継続計画 (BCP)
- 新任医師紹介
- ネコ先生の『神楽坂通信』 Vol.16
- ナースステーション/人間ドックのすすめ



新年のご挨拶

年頭にあたり謹んで新年のご祝辞を申し上げます  
 患者さん、ご家族にとり 幸多き一年となりますよう  
 心よりお祈り申し上げます



病院長 椎尾 康



新型コロナウイルス感染症が中国の武漢で発生してから、早いものでまる三年が経ちました。またたく間に世界的な大流行を引き起こし甚大な被害をもたらしましたが、この間にウイルスは、2021年3月（第3波）までの従来株からアルファ株（第4波）、デルタ株（第5波）、オミクロン株（第6波以降）へと、変異を続けました。変異するたびに感染力が高まる一方、弱毒化したため、ウイルス感染そのもので重症化する患者さんは激減しています。当院の救急外来やコロナ病棟においても、新型コロナウイルス感染により肺炎となる患者さんはほぼ見られなくなっています。予想以上に長期に及び、我々の日常生活を一変させたコロナ禍もようやく収束しつつあるようです。

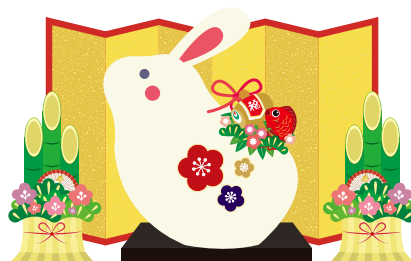
超高齢社会に突入してから15年が経過し、高齢化率（65歳以上の人口割合）が30%近くとなった日本は、新型コロナウイルスによる肺炎の犠牲者が非常に多くなると考えるのが自然ですが、世界的にみても奇跡的なほど少ない被害で食い止めることができました。このことは感染者の診療に当たった医療関係者、感染対策を担当した政府や行政、そして何よりも三密回避、マスク手洗い、ワクチン接種等にすすんで協力した多くの国民の努力、実直で和を重んじる国民性の賜であったと思います。

昨年を振り返りますと、ロシア・ウクライナ戦争が長期化し、日本をとりまく地政学的緊張

も高まっています。またコロナによる不況や少子化の急激な進行など懸念材料も多く、30余年に及ぶ経済、国力の低迷により日本がすっかり自信を失ってしまった現在、正月とはいえ晴れ晴れとした気持ちにはなれない方も多いことと思います。

しかしコロナ禍という歴史に残るであろう国難を乗り切った我々はもっと自信を持って良いはずですし、それを可能にした国民性こそが世界から信頼され尊敬される無形の財産であると思います。長い歴史の中で受け継がれてきた文化や伝統、美しい自然、治安の良さ、清潔な街、高い食文化など、日本には誇れるものが沢山あります。そして日本の医療水準、医療制度もまた、世界の人々が羨望の眼差しを向ける素晴らしい財産であります。

東京通信病院もまた、地域のため、日本社会のために自信をもって歩みを進めて参ります。本年もご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



# シンチカメラが新しくなりました

シンチカメラは、注射した放射性医薬品の分布を画像化でき、血流、代謝などの機能情報画像も得ることができるためX線CTやMRIを補助する役割を果たしています。

例えば、心筋血流シンチは心筋の血流分布を観察できる検査法で、心臓に負荷をかけた状態での画像が得られるため心筋虚血の診断ができ、治療方針の決定や治療後の効果判定に有用です。

また近年、高齢化の進展とともに認知症患者数も増加しており、65歳以上の高齢者のうちおよそ6人に1人が認知症有病者と言われています。認知症にはアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、パーキンソン病認知症などがありますが、それらの鑑別には脳血流シンチなどの核医学検査が役立ちます。

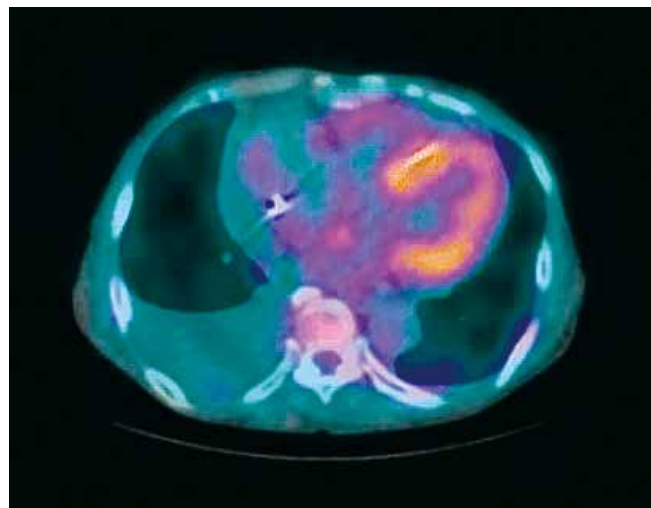
2023年1月、当院に吸収補正用CT搭載型SPECT装置NM/CT850（GEヘルスケア・ジャパン株式会社製）が導入されました。新しいコリメータLEHRSにより検出器の感度が向上しただけでなく、吸収補正用CT画像を用いた補正を行うことにより撮影時間を短縮しても画質が劣化しません。当院ではこれまでシンチカメラ2台を使用して核医学検査を実施してきましたが、撮影時間短縮により1台でも同等な検査数をこなすことができます。



NM/CT850

(画像提供：GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

検査のために放射性医薬品を人体に投与するわけですから微量ながら放射線による被ばくがあります。そこにCTの撮影が加わると聞くと被ばくの心配をされる方もいるかもしれませんが、吸収補正用CTは診断用CTに比べ約1/10の被ばくですみます。吸収補正用CTは、上述のように画質の向上に寄与するだけでなく、CT画像にシンチ画像を重ね合わせることにより下図のように、体内のどの部分に放射性医薬品が集積しているかが分かりやすくなります。下図の例では心室ではなく心筋に薬が集積している様子が分かります。



シンチ画像とCT画像との融合  
(画像提供：GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

NM/CT850では新しい核医学装置専用ワークステーションにより様々な検査目的を持つ核医学診断に適した定量値を迅速に提供できます。例えば Standardized Uptake Value (SUV) と呼ばれる定量指標は腫瘍への集積度合を示しますが、吸収補正用CT画像との組み合わせにより正確に算出でき、骨転移の経過観察や腫瘍の良悪鑑別などの診断に寄与すると言われています。



# 医療救護所訓練の実施



## 千代田区災害時合同医療救護訓練

2022年11月5日(土)、大規模災害発生時を想定した「緊急医療救護所」の設置・運営に係る訓練が千代田区主催で実施されました。



千代田区では、日本大学病院、三井記念病院、東京通信病院(当院)、三楽病院、九段坂病院及び半蔵門病院が、大規模災害発生時に、その敷地内や近接地に「緊急医療救護所」を設けることとなっており、今回の訓練は当院を会場にして実施されたものです。

「緊急医療救護所」は、大規模災害発生時に区が設置し、重症・軽傷に関わらず傷病者が病院に殺到することが想定される発災直後からおおむね72時間以内に、傷病者のトリアージ(傷病者を緊急度や重症度で分類し、治療や搬送の優先度を定める作業)や傷病者の応急処置・応急手当、病院への搬送準備を行います。

今回訓練には、千代田区医師会、神田医師会、丸の内歯科医師会、麹町歯科医師会、千代田区歯科医師会、千代田区薬剤師会、富士見地区町会連合会、陸上自衛隊が参加し、千代田区内の緊急医療救護所設置病院(当院以外の5病院)は通信訓練で参加しました。



当院は都から指定された「災害拠点連携病院」として、災害時には主に中等症者や容態の安定した重症者の受け入れを行うこととなっています。

今回の訓練は当院を会場に行ったため、「緊急医療救護所」としてのトリアージと軽症者の治療や、中等度の傷病者の治療など、実際の災害時に即した訓練を医師会等の皆さまや当院の医師、看護師により行いました。



訓練は、2022年11月5日14時10分に東京湾北部を震源として、マグニチュード7.3、震度6強の首都圏直下地震が発生し、一部家屋の倒壊、ライフラインの寸断、電車等の公共交通機関の麻痺が生じ、千代田区内で多数の傷病者が発生していることを想定して実施されました。

14時10分の地震発生後、千代田区災害対策本部により被害状況の確認と緊急医療救護所設置の決定が行われ、設営を開始。

当院外来入口前に傷病者のトリアージを行う場所(トリアージポスト)としてエアータントを設営し、ロビー内にはトリアージにより振り分けられ、それぞれの色の「トリアージタグ」を付けられた傷病者の応急処置、治療、搬送準備等のための「緑」、「黄」、「赤」の各エリアを設定しました。「緑」は軽症、「黄」は中等症、「赤」は重症の傷病者の



処置や搬送準備を行うエリアです。

大地震時に想定される様々な傷病者役の方々が、その症例、ケガにあわせたメイクを施し、苦しむ等リアルな演技もしながら搬入されていました。災害現場から到着した自衛隊の救急車からは担架でトリアージポストへ搬入され、近隣住民役の方々は徒歩や車イスでトリアージを受けました。



見学者に向けては、トリアージポスト及び各エリアで行われているトリアージや治療等について、医師等から

丁寧な実況が行われました。

特に中等症以上の「黄」、「赤」のエリアでは、当院医師、看護師が模擬傷病者への処置等に当たり、当院救急総合診療センターの医師により、傷病者の状態や行っている治療等について、見学者に対し分かりやすく丁寧な説明が行われました。

また、重傷者を災害拠点病院等へ搬送するための患者受け入れ要請についても、災害用無線機を使った通信訓練として実際の災害時さながらに行われました。

東京通信病院は、千代田区や医師会等各機関と共に災害に強い地域を構築するため、今後もこうした訓練に参加していきます。



## ！ 災害時の備蓄

### 慢性疾患（持病）の処方薬は、1週間分以上の余裕を

大規模災害直後は通常診療が制限されることが想定されます。処方薬の手持ちに余裕を

### 情報の備蓄 お薬手帳・MyHospital等を活用してご自身で処方内容の管理を

当院で導入したMyHospitalには、院外処方箋の内容を確認できる機能があり便利です。

マイナンバーカードで健康保険証利用登録すると診療・調剤情報を確認できます。

台風・洪水・地震など過去の災害時では、医療機関と連絡がとれないときに、服用中の薬剤をなくした被災者は、慢性疾患の処方がお薬手帳等（MyHospitalも可）で確認できれば薬局で保険調剤が可能（事後に医師に確認）との特例対応がされています。

### 参考 東京都健康安全研究センター「令和4年度おくすり講座」

動画「知って備える。薬にまつわる災害時の心構え」（東京都福祉保健局制作）

[https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/kj\\_shoku/okusurikouza/forumr4\\_1/](https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/kj_shoku/okusurikouza/forumr4_1/)

## お薬編



## 食品編



みなさまは災害に備えて  
非常食・保存食は  
準備してありますか？

3.11（2011年東日本大震災）をきっかけに、当院の備蓄食品の配置場所、備蓄する食品を以下のように見直しを行いました。

### 見直した点

- ・水、クラッカーは異なる階2か所に分けて保管
- ・一部はローリングストックとして、日々の病院食にも使用
- ・移動しやすいようにカートに乗せて保管
- ・食品名・病棟名・何食目かを記載

- ・水1人3ℓ×3日分
- ・おかずになる缶詰やレトルト
- ・α化米やレトルトご飯
- ・ビスケットや羊羹、野菜ジュースなど

スペースがあれば

参考：東京備蓄ナビ



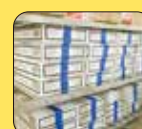
東京通信病院

備蓄数：病床数×3日分（9食分）

9階 水、クラッカー

3階 水、クラッカー

地下1階 α化米、缶詰類、ジュース類  
嚙下食用、離乳食用など





# 東京逋信病院事業継続計画（BCP）

【事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）とは

大地震などの自然災害、感染症のまん延、テロ等の緊急事態が発生した時に、被害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための方針、体制、手順等を示した計画のことをいいます。

当院では、大規模災害時においても社会的役割を果たすため以下のとおり基本方針を定めています。

- ★ 寸断なく医療提供を行うこと
- ★ 人命を最大限優先すること
- ★ 災害拠点連携病院として地域の医療提供を支援すること

当院は、大規模な地震・風水害などの自然災害だけでなく停電、火災、院内感染などの事態が発生した場合でも、可能な限り病院機能を維持していきます。また、当院は、災害拠点連携病院<sup>※</sup>として、災害医療活動を継続して行い、人命救助にあたり中等症者又は容態の安定した、重症者を受け入れていきます。



※ 災害拠点連携病院  
・災害時において主に中等症者や容態の安定した重症者の治療等を行う東京都から指定された病院

## 新任医師紹介

2022年10月1日 採用



神経内科 医師  
かわかみ はるか  
**川上 遥**

10月より神経内科に赴任いたしました川上と申します。患者さんに寄り添った医療を心掛けて参りますので、よろしくお願い致します。



整形外科 医師  
こいわ そら  
**小岩 空**

10月より整形外科に赴任致しました、小岩 空と申します。骨折やスポーツ外傷をはじめ、整形外科疾患でお困りの患者さんに寄り添った治療に努めて参ります。よろしくお願い致します。



麻酔科 医師  
もりた たいと  
**森田 泰斗**

10月より麻酔科に赴任いたしました。手術をお受けになる患者さんの安心・安全に貢献できるよう日々精進してまいります。よろしくお願い申し上げます。



放射線科 医師  
おおくぼ ゆう  
**大久保 悠**

10月より放射線科に赴任いたしました。患者さんに適切な医療を提供できるように他科の先生方と連携・協力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科 医師  
やまうち あきひと  
**山内 彰人**

2022年10月から赴任いたしました山内と申します。耳鼻咽喉科の中でも特に音声を専門としております。耳鼻咽喉科全般は勿論ですが、声にお困りの方は是非ご相談ください。



泌尿器科 医師  
にいみ ふさこ  
**新見 文沙子**

10月より泌尿器科に赴任いたしました。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



皮膚科 医師  
やの ゆみこ  
**矢野 優美子**

この度皮膚科に赴任いたしました、矢野優美子と申します。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当院を退職しました

2022年10月31日 退職

大島 博美（眼科医師）





# ネコ先生の『神楽坂通信』 Vol.16



皆様こんにちは。今回は認知症についてのお話です。まず認知症とは、認知機能が慢性的に低下して日常生活に支障をきたした状態のことです。代表的な症状は記憶の障害（物忘れ）です。一般的に、年齢が上がるにつれて誰でも記憶力は低下してきます。そういった加齢による通常の物忘れは、体験の一部だけを忘れていて、例えば食事の内容が思い出せないといった程度のものです。一方、認知症においては、忘れたということを自覚できずに、食事をしたこと自体を覚えていない場合などがみられます。

認知症の症状には他にどんなものがあるでしょうか。脳の障害によっておきる「中核症状」には、物忘れの他に、物事の意味がわからない（失認）、時間・場所がわからない（見当識障害）、物事をやり通せない（実行機能障害）などがあります。外出したけれど家に帰れなくなった、などはよく聞くエピソードです。「中核症状」をもとにして生じる「周辺症状」には、睡眠障害、妄想、幻覚、徘徊、うつなどがみられます。

では認知症はなぜ起きるのでしょうか。原因はいくつか知られており、代表的なものはアルツハイマー病と脳血管障害です。前者はアミロイドベータ蛋白という老廃物がたまることで脳細胞が破壊される疾患で、原因の約6割であると言われます。後者では脳血管の破綻により脳細胞のダメージが起き、単独では認知症の原因の2割を占め、アルツハイマー病にも合併します。他にもレビー小体という物質が脳にたまるものや前頭側頭葉変性症などの原因が知られています。

認知症の検査には、質問式で認知機能を調べる長谷川式スケールや米国製のMMSEがあります。これに画像検査（MRIやSPECTなど）の結果を加

えて総合的に診断します。認知症を治す薬は残念ながらありません。しかし進行をおさえる薬剤はいくつか知られ、脳内の神経伝達物質を増やすドネペジルが代表的なものです。

最近、認知症の一手前に当たる軽度認知

障害（MCI）という病態が知られるようになりました。1年で10%が認知症に進みますが、進行がみられない場合も50%程度あります。このMCIの段階での対策が提案されています。重要なのは生活習慣病の改善です。高血圧、糖尿病、脂質異常症を治療し、禁煙をするなどです。食事の面では魚介類、野菜を増やし、筋力トレーニングなど運動を定期的に行います。脳を活性化させるトレーニングには決定的なものはありませんが、体を使いながら同時に脳も使うデュアルタスクが良いとする報告があります。これらの対策は健康な方にも、また認知症のレベルの方にも勧められるものです。

最後に、認知症の患者がいると、その介護がご家族の負担になる場合があります。介護保険制度を活用することで様々なサービスが受けられますので、必要な場合は利用をご検討ください。皆様の認知機能がこれからも維持・改善されていきますよう、生活習慣には気をつけてお過ごしください。



院長補佐兼  
消化器内科 部長  
**光井 洋**




## 「やっぱり副作用が心配です」

抗がん剤治療を始めるときの不安のひとつだと思います。外来や短期入院での治療も増えていきますし、説明を聞いても病院外での副作用対策が想像できずに初めは戸惑うことも多いでしょう。副作用は耐えるもの。そう思い「我慢しなければいけないもの」と思っていないですか。確かに副作用は少なからずあり、治療が加わることにより生活の変化は、起こりえます。ただし、出る時期はある程度予測できますし、辛さを軽くすることはできます。例えば、看護師目線で吐き気止めなどの対策薬を使用するタイミング、肌荒れ予防のためのスキンケアなど患者さんひとりひとりの生活スタイルに合わせた方法を提案しています。つまり、患者さん自身で体調管理ができますし、治療を続けるなか大切になってきます。自分らしい生活を続けるため副作用との付き合い方を一緒に見つけていきましょう。「こんなに楽になるなんて思わなかった」この言葉をくださった患者さんの笑顔を忘れることはできません。


## 人間ドックのおすすめ

## 人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック (電話03-5214-7055)



男性 基本検査		
身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科
<b>料金 45,100円</b> 追加でオプション検査もごさいます。		



女性 基本検査		
身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科 婦人科(子宮頸がん検診) 外科系(乳房撮影+触診)
<b>料金 52,360円</b> 追加でオプション検査もごさいます。		

## オプション検査「膵・胆道ドック(MRCP)」のお勧め

膵がんは早期診断が難しく、有効な治療法が確立されていない難治性がんの代表です。高齢化に伴い死亡数は急増し、2017(平成29)年度悪性新生物の部位別死亡率は男性4位、女性では胃がんを抜き3位となりました。

2012年に日本膵臓学会から「腫瘍径が1cm以下の膵がんの5年生存率は80%以上」と報告され、今後の早期診断の目標とされています。しかしこの大きさでは約4割の患者さんが無症状で、腹部エコー検査でも描出困難な事が多く、腫瘍マーカー(CEA, CA19-9)の上昇も低率(15-40%)である事が多く、結果的に「異常なし」と診断される事は稀ではありません。

EUS(超音波内視鏡検査)やERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査)により早期診断は可能となりますが、身体への負担が大きくスクリーニング検査としては適しません。MRCP検査は検査時間が概ね20分と短く、非侵襲的で被曝がないこと、腹部エコー検査で描出困難な部位も観察できることからスクリーニング検査として最近注目されています。糖尿病の方、家族歴に膵癌のある方、過去に膵臓に異常があった方といわれた方にお勧めします。ぜひMRCPを受けていただき、見つけにくい膵臓がん、胆のうがん、胆管がんの早期発見に努めてくませんか。

人間ドック当日の午後医師面談後に日程を決定し、検査のご説明をいたします。

**料金27,500円(消費税込み)**

